

# 丸三産業 6月操業へ

## 香南市 工場改修で地鎮祭

コットン製品製造・販売大手の丸三産業（愛媛県大洲市）は17日、改修工事中の香南工場（香南市香我美町徳王子）で地鎮祭を行った。2月ごろまでに工事を終える予定で、

6月の操業開始を目指す。同社は、同市赤岡町で衛生用品などを手掛ける大三の親会社。半導体大手、ルネサスエレクトロニクス子会社が撤退した高知工場を



6月の操業開始を目指す丸三産業香南工場。ルネサスのロゴは外れた

（香南市香我美町徳王子）

昨年9月に取得し、不織布やその素材となる晒綿を製造する。昨年11月に工場の引き渡しを受け、改修を進めている。

工場敷地内で行われた地鎮祭には、同社の幹部や施工業者、行政関係者ら約40人が出席。神事で工事の安全を祈願した。取材に対し、菊池元宏社長は「改めてこの地で事業をスタートす

ることには身が引き締まる。腰を落ち着け、地域に貢献できる企業へと発展したい」と力を込めた。

同社によると、従業員約50人の採用を決めており、1月末にも一部は県外拠点で研修に入るという。3月には製造機械の搬入と設置を行い、6月には一部を稼働させる。

（三浦真裕）